



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事により発生する汚泥は沈殿させて回収し、油は吸着マットを使用することで流出防止に取り組んでいる。 ・廃棄物収集運搬の資格を取得しており、工事により発生する廃棄物(コンクリート、アスファルト、木材、金属等)は分別して適切な業者に持ち込んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「炭削くん」というソフトの簡易計算シートを使って自社のエネルギー使用量を把握している。 ・節電や効率的なエネルギー使用方法を検討する等、削減に取り組んでいる。								7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを使って温室効果ガスの排出量を把握している。HV車や環境配慮型重機の導入により、削減に取り組んでいる。 ・アイドリングストップ実施を徹底している。		2.4							7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境への悪影響防止のための取り組みとして、汚泥の回収、油の吸着による回収等対策を徹底している。 ・土壌改良の際は、土壌に悪影響のない添加剤を選択し使用している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・鉄は、リサイクルを行っている事業所に運搬している。 ・現場で撤去した部品(フェンス、ガードパイプ)は安全面を考慮した上で再利用している。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・工事により発生する汚水は泥を沈殿させて回収し、油は吸着マットを使用することで流出防止に努め、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・クラッシャーランや舗装時のアスファルトには再生材を利用しており、その他においても可能な限り再生材を選択し利用している。													9.4	12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●		・事務所周辺には植栽を行い、現場ではプランターに花を植えることで緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●		・社用車にはハイブリッド車を導入している。 ・安全掲示板やチューブには太陽光発電によるエネルギーを使用しており、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●		・事故による倒木や枯死した木を新しいものに植え替えることで、身近な森林利用への取組みを実施している。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●		・工事により発生した廃棄物は分別回収を行い、適切な業者に持ち込むことで、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。															12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4				11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●																						17.2

